

38歳 元新座市議会議員 無所属 あくなきチャレンジ!

平松だいすけ レポート 48号



平松だいすけホームページ

<http://hiramatu.net>

ご提案を市政へ(お聞かせください)!

daisuke@hiramatu.net

フェイスブックでも活動報告中です。

ご連絡先 平松だいすけを育てる会 事務所

埼玉県新座市東北2-21-3-201

FAX・留守番電話 048-475-0172

新座市議会議員選挙結果のご報告

期待を裏切らず活動します

2月14日(日)に投開票された新座市議会議員選挙の開票結果をご報告します。

平松だいすけは3007票を頂き、トップで3期目の当選をさせていただきました。市長選挙に落選し

た後、3年半近くのブランクがある選挙にもかかわらず、多くのご期待をいただきました。

当選御礼は公職選挙法で禁止されておりますので、御礼を申し上げることはできませんが、感謝の気持ち、初心を忘れずに行動して

いきます。また、皆様のご期待を裏切ることなく、議員として結果を出すことで恩返しをいたします。

※開票結果については裏面をご覧ください。

プロフィール

- ・昭和52年11月18日船橋市生まれ。両親は山口県出身。三人兄弟の長男。
 - ・十文字短大付属幼稚園、朝霞市立朝霞第五小学校、新座市立東北小学校、新座市立第二中学校、埼玉県立浦和西高校を経て、東海大学政治経済学部卒業。
 - 埼玉県議会議員吉田よしのり秘書を経て、平成16年2月、3228票を頂き、新座市議会議員に初当選。平成20年、3770票を頂きトップ当選。市議会会派代表、文教経済常任委員長、建設経済常任委員長を務める。平成24年7月、新座市長選挙に立候補するも落選。
 - 市長選落選後は政治とは無縁の都内民間企業で経験を積む。新規事業の開発責任者、部長職などを務める。
 - ・小学校の卒業文集に「ぼくは将来政治家になりたいです。そして悪いことをしている政治家をこらしめて悪い政治家がわいろとしてもらった金を全国の人に分けてあげたいです。」と書く。
 - ・心がけていること
- 巧詐は拙誠に如かず(巧みに偽り人を欺こうとしても、つたなくとも誠意を示すことにはかなわない)
君子は和して同ぜず(優れた人間は調和をしながらも、主体性を失わず、安易に同調しない。)

再選後の議会での取組結果(主なものを要約)

「教育・子育て支援」

質問 必修化前にプログラミング教育の実施を併せてICT環境の整備の実施を

答弁 必要と考えるので実施する

質問 プログラミング教育など未来の学びをココフレンドでも実施しては

答弁 まずは大和田小で夏休みに実施する

質問 若いファミリー向けの生涯学習講座の実施を

答弁 実施に向けて検討する

質問 妊娠・出産期から子育て期にわたる総合的相談や支援を行う子育て世代包括支援センターの整備を

答弁 まずは市内3か所に整備していきたい

質問 子どもの貧困対策を様々な団体と連携し、計画も策定をして実施を

答弁 団体との連携を進め、専門の相談員についても研究していく

「高齢者福祉」

質問 街角にプラスバンド型ベンチの設置を

答弁 設置に向けて検討する

質問 認知症予防の取組を

答弁 未実施なので実施に向け検討する

質問 介護予防を進めるため、元気アップ広場の未実施エリアでの実施を

答弁 実施する

質問 高齢者の負担軽減のため軽量型のゴミケースの導入を

答弁 平成30年度から試験導入していく

「安全・安心・環境・利便性の向上」

質問 出張所の休日開庁、利用時間の延長、業務拡大を

答弁 平成30年度に実施内容を検討する

質問 東北、大和田地区などで浸水被害が発生した原因の分析、土のうステーション等早急の対策としつかりとした計画の策定を

答弁 取り付け管の増径などできる対策と土のうステーションの設置、雨水管理総合計画の策定を行う

質問 自転車専用道、ナビマーク等の整備を

答弁 専用道の検討、ナビマーク、ラインの表示箇所の調査を行う

質問 緑地保全のための基金の充実を

答弁 充実策を研究する

質問 志木駅へのホームドアの設置を

答弁 東武鉄道に引き続き要望していく(2020年度までのホームドア設置が決定)

質問 新座駅ホーム端にも屋根の設置を

答弁 JRに要望はしている 屋根の設計は実施したが、実施時期は未定とのことである

「自治体経営・行財政改革」

質問 財政健全化のために財政シミュレーションの実施を

答弁 長期的な視野での財政運営のため実施に向け検討を行いたい

質問 税収増のため、返礼品の工夫、PRの実施でふるさと納税制度の更なる活用を

答弁 実施に向けて検討する

質問 シティプロモーション戦略の策定を

答弁 戦略を検討し、重点的に実施していく

質問 大学との連携を更に進めるべきでは

答弁 更なる連携のため調査研究したい